

- 大阪上本町駅から下市口駅まで特急約1時間
- 近鉄京都駅から下市口駅まで特急約1時間25分
- 近鉄名古屋駅から下市口駅まで特急約2時間40分  
(大和八木駅・橿原神宮前駅のみかえ)
- 下市口駅から奈良交通バスで洞川温泉バス停まで約1時間20分
- バス時刻のお問い合わせ  
奈良交通お客様サービスセンター ☎(0742) 20-3100

八坂神社 南日裏の集落の天ノ川右岸に鎮座する。別名「祇園社」とか「牛頭神社」とか呼ばれる通り、京都祇園にある八坂神社と同じく、祭神は牛頭天王。インドに起源を持つ神で、日本では素戔鳴尊と同一視されるが、神社の詳しい由緒などは不明。地域の人々の間では伊勢信仰も厚く、境内には伊勢神宮遷御所も設けられている。境内の杉の巨木群は推定樹齢300年以上。

民... 民宿  
 ㊦... キャンプ場  
 コテージ  
 近... 近畿自然歩道  
 ●... 道標

天水分神社 吉野などでは水分は「みくまり」と読むが、ここでは「てんすいぶんじんじや」。南北朝時代に南朝の「黒木の御所」とされた河合寺がこの付近にあり、その鎮守社として創祀されたと考えられ、境内には「吉野朝史蹟 河合寺跡」の碑も。推定樹齢400年以上の杉の巨樹が数本あり、地上5mほどで分岐する、もっとも太い樹は2本が合体したものと思われる。

天河大辨財天社 天川の地名の由来ともされる伝承を持つ古社。大友皇子との皇位継承争いを前に、吉野を訪れた大海人皇子が神々に勝利祈願して琴を奏すると、天女が現れて戦勝の祝福を示し、それに力を得た皇子は壬申の乱に勝利。即位して天武天皇となり、天女の加護に報いるため神殿を造営したのが、天河大辨財天社の始まりと伝える。日本三大弁天のひとつとされ、芸能の神として信仰を集める。

コースのあらし 修業時代の空海や戦前まで大峯高野修業の行者が盛んに歩いた大峯高野街道。「すずかけの道」と名づけられた、その道の一部を洞川温泉から南へ辿る。天ノ川の上流、山上川を右に見て、林間のみたらい遊歩道を南下、旧「鈴懸峠」(現・虹峠)を越え、天河大辨財天社、九尾ダムなどを経て栃尾バス停へ。南朝ゆかりの古刹や清流に架かる吊橋からの絶景など見所は多い。一度、栃尾バス停に着くが、川向こうの観音堂は必見スポットで、そこへの往復もコースのうち。平坦で歩きやすい川沿いの道が大部分だが、鈴懸峠越えの下りは注意が必要。

自由乗降バス  
 バスにお乗りの際は  
 手をあげてください。  
 停留所以外でも乗車  
 することができます。

栃尾観音堂 江戸時代初期、日本全国を遍歴して、生涯に12万體もの木造仏を彫ったという放浪の僧、円空。この小さな御堂に、「円空仏」を4體も安置する。高さ約140cmある聖観音菩薩立像をはじめ、大辨財天女立像、金剛童子像、護法神像が大切に守り伝えられ、長らく弘法大師作とされてきたが、昭和47年の学術調査で円空仏と認定。ガラス戸越しだが、その円空仏をごく間近に拝することができる。

きれいな思い出 きれいな自然  
 ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

ハイキングのエチケット  
 ※ゴミはまとめて持ち帰りましょう。  
 ※山火事防止のためタバコに注意しましょう。  
 ※大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

●約13キロ〔洞川温泉バス停～みたらい遊歩道～天水分神社～光遍寺～天河大辨財天社～栃尾バス停〕

空海や南朝史を 偲ぶ信仰の道 **すずかけの道コース②**

このコース地図は2015年11月1日調査に基づいて作成されています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。  
 当コースのお問い合わせ＝近鉄 大阪ハイキング係 ☎(06) 6775-3566

企画・発行＝近畿日本鉄道(株)  
 制作・印刷＝(株)アド近鉄  
 イラストマップ＝宮野耕治  
 ※このイラストマップの無断転写禁止。

